

社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションの構成要因

西坂 珠美, 會田 宏
(武庫川女子大学文学部健康・スポーツ科学科)

Composition factor of team satisfaction in member of basketball club team

Tamami Nishisaka, Hiroshi Aida

*Department of Health and Sports, School of Letters
Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663-8558, Japan*

Abstract

The purpose of this study was to investigate composition factor of "Team Satisfaction" on basketball club team members and to suggest the way of improving "Team Satisfaction".

The subjects were 144 participant belonging to various basketball club teams.

The results were summarized as follows:

- 1) Basketball club team members were satisfied with various things of their activities.
- 2) Five factors were extracted as the determinant factors of "Team Satisfaction". These were "Communication and Mood", "Practicing and Leader", "Motivation of upskilling", "Self-efficacy" and "Winning desire".
- 3) One factor was contribute to "Team Satisfaction". This was "Communication and Mood".

These results suggest that the most important thing to improve "Team Satisfaction" is making a good relationship among team-mates.

緒言

スポーツを行う集団には、学校体育における運動部、地域で活動するスポーツサークル、クラブチーム、プロチーム、ナショナルチームなど様々な形態がある。それぞれの集団がチームとよばれるためには、集団の構成メンバー間に共通の目標や関心があり、その目標を達成するために、ある一定の期間、組織的、計画的、継続的な活動を行うことが不可欠となる。メンバー間で目的や目標が共有され、仲間や活動内容などに魅力を感じているチームでは、個々のメンバーのチームに対する満足感、すなわち「チームサティスファクション」が高く、一人ひとりが意欲的に活動していく。

しかし、メンバー間で目的や目標が共有されなくなってくると、集団内での層化現象が起こり、チームを脱退するメンバーが出てきたり、チームの存続が危ぶまれてしまう。これはミュージシャンのバンド活動において、「音楽に対する考え方の違い」や「方向性の違い」を理由にメンバーが脱退したり、活動を休止したり、あるいは解散するというケースに似ている。

このような問題は、指導者やチーム運営を自主的に行うことが多い社会人のスポーツチームで起こりやすい。なぜならば社会人のスポーツチームでは、スポーツ活動そのものを楽しむこと、勝利にこだわり高い競技成績を求めること、メンバー間の交流を深めることなど、様々な目標や目的をもっていることが多いからである。

そこで本研究では、社会人バスケットボールチームを対象に、チームサティスファクションを構成する要因を明らかにし、社会人バスケットボールチームのメンバーのチームサティスファクションをより一層高め、充実した活動を継続させるための提言を行うことを目的とした。

方 法

(1) 対象者

調査対象は、大阪府を活動拠点とする社会人バスケットボールチーム(17チーム)に所属する144名(男性65名、女性79名)であった。対象チームの所属は実業団チームやバスケットボールクラブ連盟登録のチームから連盟未登録のチームまで、戦績は地区大会レベルから全国レベルまで、メンバーの年齢は18歳から39歳まで(男性 26.5 ± 5.0 yrs, 女性 26.1 ± 4.2 yrs)、個々の競技歴は半年から27年までと幅広い属性をもつチームであった。

(2) 調査内容および項目

社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションを、さまざまな視点から明らかにするため、アンケート調査を行った。アンケート調査票の作成では、會田ら²⁾、鯉田³⁾、石川⁴⁾の研究を参考にして、社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションに影響を与えると考えられる9つの評価観点を仮因子として設定し、56項目の質問項目を設定した(Table 1.)。さらに総合的なチームサティスファクションの評価のための6つの質問項目を加え、合計62項目からなる調査票を作成した。質問項目への回答は、「強くそう思う」「ややそう思う」「どちらでもない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5件法として、それぞれに5点、4点、3点、2点、1点を与えて得点化した。また、「チームの活動をよりよくすること」に関して自由記述を求めた。

Table 1. チームサティスファクションを構成する仮因子の観点と対応する質問項目の番号

| 仮 因 子 | 項 目 番 号 | | | | | | | | |
|--------------------|---------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 練習に関する項目 | 1 | 6 | 10 | 20 | 56 | 58 | | | |
| 環境に関する項目 | 3 | 28 | 33 | 34 | | | | | |
| 指導者に関する項目 | 12 | 31 | 59 | 62 | | | | | |
| 勝負に関する項目 | 14 | 19 | 25 | 27 | 29 | 35 | 37 | 39 | 54 |
| 意欲・目的に関する項目 | 2 | 11 | 17 | 30 | 46 | 49 | 52 | 57 | |
| チームへの参加・貢献に関する項目 | 7 | 13 | 22 | 26 | 36 | 38 | 45 | 60 | |
| 仲間・コミュニケーションに関する項目 | 4 | 5 | 8 | 18 | 21 | 32 | 61 | | |
| チーム運営・マネジメントに関する項目 | 9 | 15 | 16 | 41 | 42 | 47 | | | |
| チームの凝集性に関する項目 | 24 | 44 | 48 | 51 | | | | | |
| 総合的な項目 | 23 | 40 | 43 | 50 | 53 | 55 | | | |

(3) 調査期間および方法

調査期間は、2004年10月から2004年11月であった。

アンケート調査票は、大阪府下で実施されたバスケットボール大会の会場で対象チームに直接配布した。調査票はその場で回収するか、後日チームの活動中に訪問し、回収した。なお、アンケートの配布部数は160部、回収部数は144部であり、回収率は90%であった。

(4) 分析の手続き

社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションを構成する因子を抽出するために、総合的なチームサティスファクションの評価に関する6つの質問項目を除く56項目の質問項目について、主因子法による因子分析を行った。その後、Kaiserの正規化を伴うバリマックス回転を行い、因子構造を得た。因子数の決定は因子の固有値が1.0以上であること、回転後の因子の解釈がしやすいことの

両面を考慮した。因子の解釈および命名は、回転後の因子負荷量が0.5以上の項目に着目して行った。社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションを構成する因子のうち、どの因子が総合的なチームサティスファクションの評価に最も影響を与えているかを明らかにするために、総合的なチームサティスファクションの評価に関する6つの質問項目の平均得点を従属変数とし、抽出された各因子の中で因子負荷量が大きい上位3つの質問項目の平均得点を独立変数として重回帰分析を行った。

得られたデータの分析には、SPSS base 7.5J for Windowsを用いた。

結果と考察

(1) 総合的に見たチームサティスファクションの特徴

Table 2. に調査結果を示した。

チームサティスファクションの総合的な評価に関する6つの質問項目の平均得点および「強くそう思う」「ややそう思う」と質問に肯定的に回答した者の割合は、「23 自分のチームが好きだ」では4.50および90.2%、「40 今のチームの現状には満足している」では3.53および57.3%、「43 これからもこのチームでやっていきたい」では4.39および86.0%、「50 チームに入ってよかった」では4.60および93.7%、「53 チームを辞めたい」(逆転項目)では1.50および4.2%、「55 バスケットボールが楽しい」では4.67および94.4%であった。

平均得点が4.0以上で肯定的な回答が80%以上であった項目は、「4 人間関係はよい」(4.41, 88.1%)、「8 メンバー同士仲がよい」(4.38, 89.5%)、「11 常にうまくなりたいと思っている」(4.27, 82.6%)、「19 試合へは積極的に参加している」(4.39, 88.0%)、「21 新しい友人ができた」(4.51, 93.7%)、「51 これからもチームは存続すると思う」(4.27, 80.4%)、「56 練習へは真剣に取り組んでいる」(4.33, 86.0%)、であった。これらは、仲間・コミュニケーションに関する項目、練習に関する項目、勝負に関する項目、意欲・目的に関する項目、チームの凝集性に関する項目と多岐にわたる(Table 1.)。

本研究の結果から、対象者のチームサティスファクションは高く、チームをよりよくしようという意欲の強いメンバーが多いこと、チームの活動の持つ様々な側面を広く評価していることがわかる。

徳永⁹⁾は、女性バレーボールクラブのメンバーはメンバー相互の交流を求めながら、精神主義、全力主義という伝統的スポーツ観も持っていることを報告している。これは本研究と同様の結果である。

平均得点が3.0以下の項目、または「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と質問に否定的に回答したものの割合が50%以上であった項目は、「24 メンバーの新規加入・脱退等の出入りが多い」(2.92, 32.9%)、「47 チーム内の上下関係はわりとある」(2.63, 50.7%)であった。

また「チームの活動をよりよくすること」に関する自由記述では、「コミュニケーションを密にとる」「練習回数の増加」「メンバーの確保」「参加率の向上」「明確な目標を持つ」「メンバーの意識統一」などの意見が多く見られた(Table 3.)。

社会人バスケットボールチームの活動は、メンバーが固定されると閉鎖的になりやすく、新規メンバーが加入しにくい危険性がある。チームの運営をよりよくするためには、新規メンバーの勧誘の方法を工夫したり、新規メンバーが入りやすい雰囲気づくりを行うとともに、メンバー同士のコミュニケーションを多くし、チームの具体的な目標や活動内容を共有することが重要であると考えられる。

(2) チームサティスファクションの構成要因

社会人バスケットボールチームの活動におけるチームサティスファクションを構成する要因を明らかにするために行った因子分析の結果、全分散の41.5%を説明する5つの因子が抽出された(Table 4.)。

第1因子は、「8 メンバー同士仲がよい」(因子負荷量=0.753)、「4 人間関係はよい」(0.740)、「27 試合時の雰囲気はよい」(0.732)、「18 試合後の飲み会が何よりも楽しい」(0.693)、「51 これからもチームは存続すると思う」(0.560)、「15 チームの仕事の役割分担ができていく」(0.542)などの項目の因子負荷量が大きい。これらは、メンバー同士のコミュニケーションやチーム活動自体の雰囲気に直接関係する項目と解釈できるため、この因子を「メンバーとの交流・活動の雰囲気」と命名した。

Table 2. チームサテイスファクションの調査結果

| 質 問 項 目 | 平均値 | 標準偏差 | V5+4 | V3 | V2+1 |
|-----------------------------|------|------|------|------|------|
| 1 練習内容はよくまとまっている | 3.31 | 1.13 | 54.2 | 19.4 | 26.4 |
| 2 勝つことを目標にしている | 4.03 | 1.06 | 73.6 | 17.4 | 9.0 |
| 3 メンバーは確保できている | 3.50 | 1.16 | 58.7 | 16.1 | 25.2 |
| 4 人間関係はよい | 4.41 | 0.73 | 88.1 | 10.5 | 1.4 |
| 5 他のチームと交流がある | 3.78 | 1.06 | 68.5 | 14.7 | 16.8 |
| 6 練習方法はよい | 3.40 | 1.12 | 53.5 | 24.3 | 22.2 |
| 7 練習時間に遅れない | 3.01 | 1.29 | 38.9 | 25.0 | 36.1 |
| 8 メンバー同士仲がよい | 4.38 | 0.78 | 89.5 | 7.7 | 2.8 |
| 9 活動にかかる費用は適当だ | 3.71 | 1.17 | 62.9 | 23.1 | 14.0 |
| 10 練習の進め方はよい | 3.51 | 1.10 | 56.3 | 24.3 | 19.4 |
| 11 常にうまくなりたと思っている | 4.27 | 0.92 | 82.6 | 13.2 | 4.2 |
| 12 指導者に満足している | 3.69 | 1.18 | 53.9 | 34.0 | 12.1 |
| 13 他の約束をおいても練習を優先させる | 3.47 | 1.12 | 51.7 | 31.5 | 16.8 |
| 14 対外試合をするほうだ | 3.29 | 1.11 | 44.7 | 34.8 | 20.6 |
| 15 チームの仕事の役割分担ができています | 3.56 | 1.00 | 53.5 | 30.3 | 16.2 |
| 16 最終的な決定権は指導者にある | 3.41 | 1.14 | 45.7 | 36.4 | 17.9 |
| 17 チームに明確な目標がある | 3.83 | 1.12 | 65.3 | 22.2 | 12.5 |
| 18 試合後の飲み会が何よりも楽しい | 3.46 | 1.18 | 50.7 | 31.4 | 17.9 |
| 19 試合へは積極的に参加している | 4.39 | 0.77 | 88.0 | 9.2 | 2.8 |
| 20 練習時の雰囲気はよい | 4.04 | 0.88 | 78.5 | 16.0 | 5.6 |
| 21 新しい友人ができた | 4.51 | 0.74 | 93.7 | 4.2 | 2.1 |
| 22 チームのためなら自分が試合に出られなくてもよい | 3.90 | 1.18 | 68.8 | 20.1 | 11.1 |
| 23 自分のチームが好きだ | 4.50 | 0.76 | 90.2 | 7.7 | 2.1 |
| 24 メンバーの新規加入・脱退等の出入りが多い | 2.92 | 1.15 | 31.5 | 35.7 | 32.9 |
| 25 試合出場は実力主義だ | 3.52 | 1.02 | 51.0 | 36.4 | 12.6 |
| 26 チームをまとめようとしている | 3.71 | 0.98 | 60.1 | 29.4 | 10.5 |
| 27 試合時の雰囲気はよい | 4.01 | 0.82 | 75.4 | 21.8 | 2.8 |
| 28 練習環境はよい | 3.79 | 1.02 | 64.6 | 24.3 | 11.1 |
| 29 試合を意識して練習している | 3.83 | 1.02 | 67.4 | 22.2 | 10.4 |
| 30 もっと高いレベルを目指したい | 4.17 | 0.85 | 76.9 | 20.3 | 2.8 |
| 31 指導方法に満足している | 3.45 | 1.07 | 48.2 | 36.2 | 15.6 |
| 32 練習以外で仲間と交流がある | 3.91 | 1.05 | 72.7 | 16.1 | 11.2 |
| 33 練習場所は確保できている | 3.96 | 1.20 | 70.6 | 16.8 | 12.6 |
| 34 練習環境には不満がある | 2.40 | 1.17 | 16.1 | 30.8 | 53.1 |
| 35 試合で練習の成果が出ている | 3.36 | 0.95 | 46.9 | 37.1 | 16.1 |
| 36 メンバー一人ひとりがチームのために動いている | 3.72 | 0.92 | 63.2 | 27.1 | 9.7 |
| 37 参加メンバー全員が試合に出ることが重要だ | 3.65 | 1.04 | 54.2 | 33.1 | 12.7 |
| 38 自分の意見が反映されている | 3.57 | 0.81 | 53.8 | 40.6 | 5.6 |
| 39 試合で結果を残すことが重要だ | 3.87 | 0.94 | 67.4 | 24.3 | 8.3 |
| 40 今のチームの現状には満足している | 3.53 | 1.11 | 57.3 | 23.8 | 18.9 |
| 41 ミーティングを重視している | 3.15 | 1.05 | 34.3 | 40.6 | 25.2 |
| 42 怪我や病気の予防に対する意識が高い | 3.21 | 1.13 | 37.5 | 38.9 | 23.6 |
| 43 これからもこのチームでやっていきたい | 4.39 | 0.83 | 86.0 | 11.9 | 2.1 |
| 44 チーム力は上がっている | 3.93 | 0.92 | 69.2 | 24.5 | 6.3 |
| 45 常にチームのことを考え、行動している | 3.79 | 0.92 | 65.3 | 27.1 | 7.6 |
| 46 体力の維持・増進のためにバスケットをしている | 3.69 | 1.13 | 61.8 | 23.6 | 14.6 |
| 47 チーム内の上下関係はわりとある | 2.63 | 1.17 | 24.3 | 25.0 | 50.7 |
| 48 チーム状態はここ数年安定している | 3.19 | 0.91 | 34.0 | 48.2 | 17.7 |
| 49 余暇を楽しむためにバスケットをしている | 3.39 | 1.24 | 50.7 | 27.8 | 21.5 |
| 50 チームに入ってよかった | 4.60 | 0.72 | 93.7 | 3.5 | 2.8 |
| 51 これからもチームは存続すると思う | 4.27 | 0.88 | 80.4 | 16.1 | 3.5 |
| 52 ストレス解消のためにバスケットをしている | 3.80 | 1.15 | 65.0 | 23.1 | 11.9 |
| 53 チームを辞めたい | 1.50 | 0.94 | 4.2 | 12.6 | 83.2 |
| 54 試合の勝敗は重要でない | 2.45 | 1.23 | 19.6 | 23.1 | 57.3 |
| 55 バスケットボールが楽しい | 4.67 | 0.66 | 94.4 | 4.2 | 1.4 |
| 56 練習には真剣に取り組んでいる | 4.33 | 0.78 | 86.0 | 12.6 | 1.4 |
| 57 バスケットに関する知識を増やすようにつとめている | 3.85 | 1.01 | 63.6 | 28.0 | 8.4 |
| 58 勝つためであっても厳しい練習は避けたい | 2.27 | 1.06 | 11.9 | 28.7 | 59.4 |
| 59 指導者の考え方についていけないと思うことがある | 2.20 | 1.11 | 9.4 | 34.5 | 56.1 |
| 60 練習へは毎回参加している | 3.53 | 1.17 | 53.8 | 26.6 | 19.6 |
| 61 チームメイトに認められていると思う | 3.37 | 0.82 | 38.0 | 53.5 | 8.5 |
| 62 指導者のリーダーシップには信頼をおいている | 3.87 | 1.12 | 61.7 | 29.1 | 9.2 |

1. V5+4 は、「強くそう思う」および「ややそう思う」と回答した割合(%)
2. V3 は、「どちらでもない」と回答した割合(%)
3. V2+1 は、「あまりそう思わない」および「全くそう思わない」と回答した割合(%)

Table 3. チームの活動をよりよくすることに関する自由記述内容

| |
|-----------------------|
| 練習に関すること |
| 練習回数の増加(14) |
| 参加率の向上(9) |
| 環境に関すること |
| 練習場所を確保する(4) |
| モチベーションに関すること |
| 目標な明確を持つ(8) |
| メンバーの意識統一(6) |
| 技術・知識に関すること |
| 個々のレベルアップ(3) |
| チームに関すること |
| メンバーの確保(12) |
| チームのことを考え、協力的に活動する(4) |
| 世代交代していける体制作り(3) |
| 継続(3) |
| コミュニケーションに関すること |
| コミュニケーションを密にとる(16) |
| 飲み会を開く(4) |
| ミーティングを開く(4) |

1. ()内は同一内容記述数
2. 3つ以上同一記述があった回答のみを記載

第2因子は、「10 練習の進め方はよい」(0.837), 「6 練習方法はよい」(0.818), 「1 練習内容はよくまとまっている」(0.770), 「12 指導者に満足している」(0.670), 「31 指導方法に満足している」(0.555)などの項目の因子負荷量が高い。これらは、練習や指導者を示す項目と解釈できるため、この因子を「練習・指導者」と命名した。

第3因子は、「11 常にうまくなりたいと思っている」(0.719), 「58 勝つためであっても厳しい練習は避けたい」(-0.614), 「56 練習には真剣に取り組んでいる」(0.612), 「13 他の約束においても練習を優先させる」(0.593), 「57 バスケットに関する知識を増やすようにつとめている」(0.562), 「19 試合へは積極的に参加している」(0.540), 「30 もっと高いレベルを目指したい」(0.538)などの項目の因子負荷量が高い。これらは、チームとしてのまとまった活動や、練習を行うことそのものに価値を求める項目と解釈できるため、この因子を「技術向上意欲」と命名した。

第4因子は、「33 練習場所は確保できている」(0.605), 「26 チームをまとめようとしている」(0.511), 「45 常にチームのことを考え、行動している」(0.506), 「38 自分の意見が反映されている」(0.501)などの項目の因子負荷量が高い。これらは、所属するチームの運営に対しての自分がチームに果たす役割に直接関係する項目と解釈できるため、この因子を「自己有能感」と命名した。

第5因子は、「39 試合で結果を残すことが重要だ」(0.696), 「25 試合出場は実力主義だ」(0.591), 「2 勝つことを目標にしている」(0.532), 「29 試合を意識して練習している」(0.508)などの項目の因子負荷量が高い。これらは、チームとしての活動の成果や試合での勝ち負けに対する執着心などに直接関係する項目と解釈できるため、この因子を「勝留意欲」と命名した。

以上の因子分析の結果から、社会人バスケットボールチームの活動におけるチームサティスファクションの構成要因には、「メンバーとの交流・活動の雰囲気」、「練習・指導者」、「技術向上意欲」、「自己有能感」、「勝留意欲」の5つがあることが明らかになった。

Table 4. 回転後の因子負荷行列

| 質 問 項 目 | 因子 1 | 因子 2 | 因子 3 | 因子 4 | 因子 5 | 共通性 |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 8 メンバー同士仲がよい | 0.753 | 0.134 | -0.058 | 0.205 | -0.075 | 0.635 |
| 4 人間関係はよい | 0.740 | 0.123 | 0.065 | 0.170 | -0.203 | 0.637 |
| 27 試合時の雰囲気はよい | 0.732 | 0.125 | 0.107 | 0.193 | -0.023 | 0.601 |
| 18 試合後の飲み会が何よりも楽しい | 0.693 | 0.074 | 0.075 | 0.112 | 0.119 | 0.518 |
| 36 メンバー一人ひとりがチームのために動いている | 0.574 | 0.265 | 0.107 | 0.253 | 0.076 | 0.480 |
| 51 これからもチームは存続すると思う | 0.560 | 0.187 | 0.031 | 0.068 | -0.047 | 0.356 |
| 15 チームの仕事の役割分担ができています | 0.542 | 0.177 | 0.182 | 0.142 | 0.201 | 0.418 |
| 20 練習時の雰囲気はよい | 0.541 | 0.447 | 0.041 | 0.328 | -0.083 | 0.609 |
| 52 ストレス解消のためにバスケットをしている | 0.524 | 0.090 | -0.197 | -0.018 | 0.018 | 0.322 |
| 48 チーム状態はここ数年安定している | 0.520 | 0.108 | 0.079 | -0.055 | 0.075 | 0.297 |
| 5 他のチームと交流がある | 0.519 | 0.059 | 0.223 | 0.000 | 0.036 | 0.324 |
| 3 メンバーは確保できています | 0.506 | -0.077 | 0.198 | -0.099 | 0.272 | 0.385 |
| 46 体力の維持・増進のためにバスケットをしている | 0.504 | 0.175 | -0.169 | 0.045 | 0.059 | 0.318 |
| 49 余暇を楽しむためにバスケットをしている | 0.444 | 0.200 | -0.318 | 0.027 | -0.120 | 0.353 |
| 44 チーム力は上がっている | 0.429 | 0.107 | 0.296 | 0.369 | 0.207 | 0.462 |
| 12 対外試合をするほうだ | 0.425 | 0.207 | 0.151 | 0.090 | 0.146 | 0.276 |
| 34 練習以外で仲間と交流がある | 0.422 | 0.237 | 0.077 | 0.357 | 0.033 | 0.368 |
| 37 参加メンバー全員が試合に出ることが重要だ | 0.375 | 0.072 | -0.015 | 0.158 | -0.220 | 0.219 |
| 54 試合の勝敗は重要でない | 0.335 | 0.088 | -0.265 | -0.071 | -0.306 | 0.289 |
| 21 新しい友人ができた | 0.299 | 0.105 | 0.279 | 0.128 | -0.117 | 0.208 |
| 10 練習の進め方はよい | 0.221 | 0.837 | 0.103 | 0.116 | -0.001 | 0.773 |
| 6 練習方法はよい | 0.225 | 0.818 | 0.051 | 0.076 | 0.157 | 0.753 |
| 1 練習内容はよくまとまっている | 0.089 | 0.770 | 0.022 | 0.031 | 0.137 | 0.621 |
| 12 指導者に満足している | 0.328 | 0.670 | 0.270 | -0.002 | -0.038 | 0.631 |
| 31 指導方法に満足している | 0.417 | 0.555 | 0.084 | 0.177 | 0.119 | 0.534 |
| 62 指導者のリーダーシップには信頼をおいている | 0.391 | 0.497 | 0.204 | 0.102 | -0.147 | 0.474 |
| 28 練習環境はよい | 0.246 | 0.495 | 0.052 | 0.467 | 0.031 | 0.528 |
| 17 チームに明確な目標がある | 0.440 | 0.468 | 0.232 | 0.052 | 0.352 | 0.593 |
| 41 ミーティングを重視している | 0.247 | 0.310 | 0.174 | 0.170 | 0.213 | 0.262 |
| 34 練習環境には不満がある | -0.147 | -0.300 | 0.100 | -0.204 | 0.183 | 0.196 |
| 59 指導者の考え方についていけないと思うことがある | -0.251 | -0.292 | -0.232 | -0.219 | 0.281 | 0.330 |
| 16 最終的な決定権は指導者にある | 0.232 | 0.267 | 0.262 | -0.220 | 0.115 | 0.255 |
| 9 活動にかかる費用は適当だ | 0.009 | 0.228 | 0.117 | 0.087 | -0.197 | 0.112 |
| 24 メンバーの新規加入・脱退等の出入りが多い | 0.004 | 0.191 | 0.086 | 0.033 | -0.033 | 0.046 |
| 11 常にうまくなりたいと思っている | 0.052 | 0.159 | 0.719 | 0.124 | 0.244 | 0.620 |
| 58 勝つためであっても厳しい練習は避けたい | 0.196 | -0.098 | -0.614 | 0.093 | -0.102 | 0.444 |
| 56 練習には真剣に取り組んでいる | 0.033 | 0.254 | 0.612 | 0.129 | 0.038 | 0.458 |
| 13 他の約束をおいても練習を優先させる | 0.005 | 0.227 | 0.593 | 0.139 | 0.100 | 0.433 |
| 57 バスケットに関する知識を増やすようにつとめている | 0.146 | 0.079 | 0.562 | 0.202 | 0.080 | 0.391 |
| 19 試合へは積極的に参加している | 0.306 | -0.117 | 0.540 | 0.222 | 0.092 | 0.457 |
| 30 もっと高いレベルを目指したい | -0.060 | 0.020 | 0.538 | 0.137 | 0.526 | 0.589 |
| 60 練習へは毎回参加している | -0.050 | 0.063 | 0.469 | 0.465 | 0.079 | 0.449 |
| 7 練習時間に遅れない | 0.209 | 0.213 | 0.334 | 0.017 | 0.137 | 0.220 |
| 33 練習場所は確保できています | -0.044 | 0.501 | -0.148 | 0.605 | -0.149 | 0.664 |
| 26 チームをまとめようとしている | 0.190 | 0.075 | 0.281 | 0.511 | 0.262 | 0.450 |
| 45 常にチームのことを考え、行動している | 0.288 | 0.100 | 0.377 | 0.506 | 0.166 | 0.519 |
| 38 自分の意見が反映されている | 0.180 | 0.213 | 0.086 | 0.501 | 0.174 | 0.366 |
| 35 試合で練習の成果が出ている | 0.183 | 0.324 | 0.151 | 0.407 | 0.231 | 0.380 |
| 61 チームメイトに認められていると思う | 0.295 | 0.050 | 0.248 | 0.306 | 0.151 | 0.268 |
| 42 怪我や病気の予防に対する意識が高い | 0.257 | -0.044 | 0.143 | 0.274 | -0.082 | 0.171 |
| 39 試合で結果を残すことが重要だ | 0.023 | -0.018 | 0.265 | 0.128 | 0.696 | 0.572 |
| 25 試合出場は実力主義だ | 0.017 | -0.077 | 0.056 | 0.175 | 0.591 | 0.389 |
| 2 勝つことを目標にしている | 0.100 | 0.172 | 0.398 | 0.011 | 0.532 | 0.482 |
| 29 試合を意識して練習している | 0.184 | 0.420 | 0.271 | 0.141 | 0.508 | 0.561 |
| 22 チームのためなら自分が試合に出られなくてもよい | 0.069 | 0.007 | 0.188 | -0.080 | -0.217 | 0.094 |
| 47 チーム内の上下関係はわりとある | 0.064 | 0.107 | 0.133 | -0.060 | 0.200 | 0.077 |
| 因子 寄 与 | 7.36 | 5.35 | 4.54 | 3.04 | 2.94 | 23.24 |
| 因子 寄 与 率 (%) | 13.1 | 9.6 | 8.1 | 5.4 | 5.3 | 41.5 |

(3) チームサティスファクションに貢献する要因

社会人バスケットボールチームの活動に対するチームサティスファクションの総合評価と、チームサティスファクションを構成する5つの要因との間には、全ての要因において有意な相関関係が認められた (Table 5.)。また、総合評価を従属変数、5つの要因を独立変数とした場合、有意な重相関関係が認められた ($r=0.76$, $p<0.01$)。各独立変数の標準回帰係数 (β) が有意なものは、「メンバーとの交流・活動の雰囲気」 ($\beta=0.62$)、「練習・指導者」 (0.18) であった。さらに、総合評価に対する貢献度の高い要因は、「メンバーとの交流・活動の雰囲気」 (43.9%) であった。

近年、人々のスポーツ参加の増大とともに日本人のスポーツ観はますます多様化しており、種目、性、年齢、学歴等により相違があることが明らかにされている^{6,7)}。特に社会人のスポーツチームは、様々な年齢層のメンバーが集まって活動しているため、メンバーの持つ過去のスポーツ経験も様々であり、スポーツに対する価値観も大きく異なると考えられる。そのためチームの活動に対するメンバーの目的意識を統一することは困難である。しかし、このことは一方で、社会人のスポーツチームでは、学校のクラブ活動とは異なり、全てのチームの活動目標や内容に関する意思決定をメンバーで話し合い、自分達のオリジナルなチームを築き上げることができるという醍醐味を味わえることを意味している。

本研究の結果は、社会人バスケットボールチームにおけるチームサティスファクションには、メンバー同士のコミュニケーションがうまくとれていること、練習や試合といった活動の雰囲気がよいことが大きく影響していることを示している。チームサティスファクション向上のためにはこれらの要因に特に注意し、メンバー間の活動意識を統一させるため、練習、試合などといったコートの中だけでなく、ミーティング、飲み会などコートの外での活動を共にすることが重要であると考えられる。

Table 5. チームサティスファクションの総合評価に対する各要因の相関係数、標準回帰係数および貢献度

| 要 因 | 相関係数 | 標準回帰係数 | 貢献度 (%) |
|-----------------|--------|--------|---------|
| メンバーとの交流・活動の雰囲気 | 0.71** | 0.62** | 43.91 |
| 練習・指導者 | 0.41** | 0.18** | 7.57 |
| 技術向上意欲 | 0.22** | 0.00 | 0.06 |
| 自己有能感 | 0.41* | 0.12 | 5.11 |
| 勝利意欲 | 0.18* | 0.09 | 1.53 |

1. **: $p<0.01$, *: $p<0.05$

2. 貢献度 (%) は、相関係数 \times 標準回帰係数 $\times 100$ で算出した

要 約

本研究では、大阪府を活動拠点とする社会人バスケットボールチームに所属する144名にアンケート調査を行い、チームに対する満足感、すなわちチームサティスファクションを構成する要因を明らかにすること、および社会人バスケットボールチームのメンバーのチームサティスファクションをより一層高め、充実した活動を継続させるための提言を行うことを目的とした。

結果は以下の通りであった。

- 1) 社会人バスケットボールチームのメンバーは、チームの活動の持つ様々な点に満足している。
- 2) 社会人バスケットボールチームのチームサティスファクションを構成する要因には、「メンバーとの交流・活動の雰囲気」、「練習・指導者」、「技術向上意欲」、「自己有能感」、「勝利意欲」がある。
- 3) チームサティスファクションに貢献する要因は、「メンバーとの交流・活動の雰囲気」であり、この要因について高い評価を得られるような活動が、充実した社会人バスケットボールチームの活動を行うために重要である。

これらの結果から、社会人バスケットボールチームのチームサティスファクションを向上させるためには、よりよい人間関係を築き、活動目標や内容をメンバー全員で決定できるような運営をしていくことが

重要であることが示唆された。

文 献

- 1) 永田靖章ほか, 「スポーツ集団のマネジメント」, ぎょうせい, pp.26-49(1998)
- 2) 會田 宏・中西 匠・二宮恒夫, 「スキー実習における授業評価の構造」, 武庫川女子大学紀要, **45**, 49-55(1997)
- 3) 鯉田真里子, 「ママさんバレーボール参加者の満足感を構成する要因」, 武庫川女子大学文学部教育学科健康・スポーツ専攻卒業論文(2001)
- 4) 石川恵里, 「タッチフットボールをはじめたきっかけ」, 武庫川女子大学文学部教育学科健康・スポーツ専攻卒業論文(2003)
- 5) 徳永敏文; 「女性バレーボールクラブ・メンバーのスポーツ観について—岡山市, 神戸市, 三鷹市における調査から—」, 体育学研究, **36**, 157-170(1991)
- 6) 日下裕弘・丸山富雄, 「一般成人のスポーツ観に関する研究」, 体育・スポーツ学研究, **7**, 131-158(1998)
- 7) 丹羽劭昭, 「スポーツ参加婦人の態度からみたスポーツの文化的特徴—得に規範を中心に—」, 体育・スポーツ社会学研究, **4**, 95-121(1985)